



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2022～2023 年度 高山中央 RC 会長テーマ

イマジン ⇒ アクション ～止まった時間を動かそう！～



◆会長 中田 学 ◆幹事 二木 公太郎 ◆会報委員長 西 美紀 ◆会報担当 高木 純

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1308 回	54 名	54 名	38 名	——	70.37%
前々回 1306 回	54 名	54 名	39 名	3 名	77.78%

### ●点 鐘

### ●ロータリーソング

それこそロータリー

### ●高山中央ロータリークラブ職業倫理基準

### ●会長の時間

会長 中田 学

こんにちは！

会長の時間です。

先月の 17 日に、田中研修委員長に、お骨折りいただき、「IDM (インフォーマル・ディスカッション・ミーティング)」を銀風さんで実施しました。本日の例会は、「IDM 報告」ということで、ご報告がありますのでよろしくお願い致します。この IDM ですが、「ロータリー用語便覧」によれば、1935 年、今から、87 年前に、シカゴロータリークラブが、新入会員の皆さんにロータリー情報を提供するために、はじめたものだそうです。シカゴロータリークラブが、IDM を行って、大きな成果を収めることから、やがて世界的に広まっていったそうです。この会合は、「座談会 (Informal Meeting)」「家庭集会 (Home Meeting)」「情報集会 (Informed Group Meetings, あるいは Information Meeting)」などに名前を変えて続いてきましたが、現在は、こういった言葉そのものは、「手続要覧」の用語の中には、みられなくなっています。各クラブによって、様々な名称で集会が行われていますが、あくまでも、非公式な会合ということで、新入会員がロータリーに馴染んでもらうために、会員間での親睦や情報交換など、ロータリーを理解し、よりつながりを深くするために、会員の自宅、その他に少人数が集まって、和やかに自由討論する場になっています。高山中央ロータリーでは、研修委員会の主導で、食事とお酒を交えて、こ



れまで行われてきたと記憶しています。コロナの感染拡大で、ここ数年、そのような形での開催はできませんでしたが、銀風さんで、久しぶりに開催させていただいて、勉強と親睦をさせていただきました。ちなみに、私は、「中央ロータリークラブの歴史」というパートを担当しましたが、資料を引っ張り出して、これまでの流れなどを、私なりの視点から、つたないお話をさせていただきました。

そして、こういった時に、いつも思うのですが、人に何かをお伝えするという役割を与えられると、自分がしっかり勉強して、理解を深めなければならなくて、そのことは自分の勉強になり、それが自分自身の成長につながっていくというのを思います。今回も、皆さんと一緒に、ロータリーの理解を深める機会をいただきました。感謝しています。ありがとうございました。

最後になりますが、高山市内、コロナ、なかなか減っていない状況で、すっきりとはしませんが、来週は忘年例会です。高山中央ロータリークラブの最も大切な事業のひとつです。体調管理にお努めいただき、万全な状態で臨んでいただくこと、そして大いに盛り上がることをお願いして会長の時間とします。ありがとうございました。

### ●幹事報告

幹事 二木 公太郎

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・クラブ研修リーダー  
セミナー開催のお知らせ

日時：2023 年 1 月 28

日 (日) 13:30～15:30

会場：名鉄グランド

ホテル

登録料：5,000 円

要請者：クラブ研修リーダー

・メルボルン国際大会登録のお願い



- 濃飛グループガバナー補佐より
  - ・ガバナー杯チャリティーゴルフ
  - 濃飛グループ予選会結果のお知らせ
  - 優勝:美濃加茂RC 準優勝:可児RC
- 上野東ロータリークラブより
  - ・2022-23 年度 I M 報告書
- 比国育英会バギオ基金より
  - ・2021 年度事業報告の送付と基金への寄付のお願い
- <会報>
  - ・下呂RC

## ●研修委員会 委員長 田中 雅昭

本日の例会は先般 11 月 17 日に銀風さんにて行いました I D M 報告を水口さん、中屋さん、井辺さんに報告して頂きました。当日は住さん、直井さんにも出席をして頂き、大変熱心に勉強され 30 分の説明が 1 時間を超えるほど皆さん真剣に学ばれたのではないのでしょうか。さて研修リーダーの役目とは何かを 8 月に行われたセミナーを振り返ってみたいと思います。クラブ研修リーダーの役目とは、2010 年・国際ロータリー規定審議会<採択決議案 10-01>によると新会員も古くからの会員も含め、R I 並びにロータリー財団の目標、規則、リソースに関する知識が欠けているロータリアンが多くみられる。これはクラブが徹底した定期研修を継続的に提供していないことに起因している。等々と記載されています。現状の当クラブに於いては、新入会員さんの為の、オリエンテーションや I D M で終わっているのが現状です。研修リーダーの役割をさらに充実して進めることも大切なことですが、当クラブに合わせた研修委員会のあり方も今後見直していかなければならないのかもしれない。入会 1 年から 3 年程で退会される方が増えない為にも、新会員さんに親しみやすい雰囲気を作ったり、例会が楽しみであったり、進んで奉仕活動が出来るような指導を行うなどして進めて参りたいと思います。今年度は後 3 名ほどの新会員さんを予定していますので、皆様楽しみにお待ちいただければと存じます。ありがとうございました。



## ●「IDM 報告」

11 月 17 日、IDM を開催していただきました。昨年に続いて 2 回目の参加となりました。職業倫理基準のお話を岩本さんにおこなっていただきましたが、高山中央ロータリーが独自でそういった基準を掲げられるあたりは、このクラブの質の高さを改めて認識できるとともに、先輩方が作り上げてきた歴史を鑑みる事に繋がりました。歴史とえば、チャーターメンバーであります、松之木さんから当時のお話を聞かせていただきました。中でも興味深かったのは、設立にあたって各方面への挨拶周りを行う中で岐阜 RC への訪問をした際のお話でした。運転手付き車両からメンバーであろう方が続々と会場入りするなか、随分と緊張して入られたそうです。会場内ではお茶をたていただき、「えらいところへ来てしまったものだ」と感じながら益々緊張したそうです。この様な話を聞かせていただきながら、クラブを立ち上げるといったバイタリティーとメンタリティーに、ただただ感服させられるばかりでした。

今回の IDM を開催していただいた事により、ロータリアンとしての学びはもちろん、懇親会を経てメンバーの方々との交流がより深まった事に感謝を申し上げますとともに、開催を企画・運営していただいた田中委員長を始めとした委員会メンバーの方々、ありがとうございました。

## 水口 邦博



## 中屋 出

私は 2022 年 11 月 17 日 (木) に高山中央ロータリークラブ研修委員会主催の、「Informal Discussion Meeting」に参加し、高山中央ロータリークラブの歴史、IDM の趣旨、職業倫理基準、ロータリー財団、私のロータリー考について学びました。

入会する直前、今年 4 月に実施していただいた新入会員オリエンテーションや、事前に推薦者から教えてもらっていたロータリー活動について、実は理解できていないことが多々ありました。そのような状態で入会しましたが、例会や地区大会、様々な活動を体験したタイミングで参加した「IDM」は、ロータリーについてより理解を深めることができた貴重な時間となりました。印象に残ったことは、高山中央ロータリー職業倫理基準の話聞き、これから私がどうあるべきかを深く考えさせ



られたことです。様々なご縁がありこうしてロータリアンのスタート地点に立つことができました。これから自らの足で前に進んでいくために、「自分はロータリアンであることを自覚すること」がとても重要なことであると強く感じました。そしてロータリアンとして5つの心構えを理解しました。そのうちの3つに対して次のように感じました。

第2条、常に自己改善を図り、実力を培い、奉仕を広げ「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」という基本原則を実証する事

この中で「超我の奉仕」(Service Above Self)という言葉が出てきました。私の知らない言葉でしたがよく考えてみると、私利私欲のために生きていくことは、自分自身は満足かもしれませんが、周りの人を幸せにすることは出来ません。私達が目指すことは「世のため人のため」に私達が出来ることを努め社会に貢献することです。ピーター・ドラッカーの言葉で言うならば「私的な強みは公益となる」にあたります。私の強みを活かして奉仕し、いつの日か「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」が実証出来たことを実感したいです。

第3条、ロータリーの仲間、最も大きな財産の一つであり、友情を通じて得られたものが、全ての倫理基準にかなったものである事

今現在、私は地域や学校活動のお手伝いをさせていただいています。そしていまロータリーでも機会を与えていただきました。いつの日か高山中央ロータリーや皆さんの役にたち、大きな財産として深く友情を築けられるよう努力いたします。

第5条、如何なる場合においても、如何なる場所においても、常に「恥じない」姿勢である事

ロータリアンとして恥ずかしいふるまいや言動をしないよう常に意識して過ごせるよう努力いたします。特に自分の本質が最も出やすい酒席や車の運転などでは十分注意しようと思います。

最後に「私のロータリー考」で松之木さんが言われました「例会に出席する事が大事」を実践し、親睦と学びを基盤にして成長し、世のため人のために行動できるロータリアンを目指し、高山中央ロータリーの発展に貢献出来るよう努めます。

### 井辺 義直

高山中央ロータリークラブ  
職業倫理基準について

- ① 高山中央ロータリーにのみ存在する。
  - ② 第2条に関しては第2標語からきている。
  - ③ 第3条は「親睦と奉仕」から。
  - ④ 第4条は倫理的指針である。
- ロータリー考について



出来る限りの出席をし、親睦を深めることが大事である。

ロータリー財団について

- ① 地区補助金 地区財団活動資金の50%までを地区補助金として申請できる。3年前のクラブ年次基金寄付額に応じて支給額と支給限度額が決定される。
- ② グローバル補助金
- ③ ポリオ・プラス 残り数カ国である。
- ④ ロータリー平和センター 奨学金プログラム

以上のことを軸にスピーチをさせていただきました。

### <ニコニコBOX>

昨日は、孫の1歳の誕生会を名古屋で行いました。コロナ禍の中、大変な思いをして出産してくれたことと思いますがすくすく育っています。感謝の気持ちを込めてニコニコへ。

高木 純

本日より、上二之町で工事をしています。天気が良ければ来週で終わりますのでご迷惑をお掛け致しますがよろしくお願いします。

小出 貴博